

8月2日：警戒感が高まるも上昇（VN 指数 +0.24%）

- 昨日の下落に引き続き、本日も下落して取引を開始したが、その後落ち着きを取り戻した。
- 昨日の下げによって投資家は警戒感を高めており、午前中のほとんどの時間は低い流動性の中で前日終値付近でもみ合っていた。
- 午後に入ると銀行株を中心に買いが入ったことである程度の安心感が広がり、上昇に転じた。
- その後は、荒い動きとなったが最終的には上昇を維持して取引を終えた。
- 騰落別ではまちまちの展開。237 銘柄が上昇、226 銘柄が下落した。54 銘柄は変わらずだった。
- 流動性は低下し、売買代金は 19.1 兆ドンとなった。

VN30 指数はわずかに下落（VN30 指数 -0.07%）

- 時価総額・流動性の大きい 30 銘柄で構成する VN30 指数は、16 銘柄が上昇、12 銘柄が下落した。2 銘柄は変わらずだった。
- BID (+1.9%)、CTG (+2.1%)、NVL (+3.1%)、PDR (+2.6%) といった銘柄は大きく上昇。
- 一方、大きく下落したのは BCM (-1.4%)、FPT (-1.2%)、MSN (-1.7%)、VHM (-1.4%)、VIC (-1.0%) などが挙げられる。

セクター・個別株の動き

- ロンタイン空港の建設案件の入札によって、VIETUR 連合のみが技術要件を満たしたことから、関連銘柄の PHC (+7.0%)、CC1 (+14.7%)、HAN (+13.6%) が大幅高となった。
- TNG (+1.0%) は7月の売り上げが年初来で最大となったことが好感され買われた。

- 外国人投資家は1,634億ドルの買い越しだった。VPBやMWGなどが売られた一方、MSB、CTGなどは買われていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。